

防空

平成29年度 文書館企画展

「戦争と人々のくらし」

語り繋ぎたい 戦中戦後のまちや子どもたちの様子
― 「防空・復興」「学校・教科書の変遷」から―

【期間】平成29年7月19日（水）

10月31日（火）

会場 北九州市立文書館（入場無料）

北九州市小倉北区大手町1 1番5号 (093-561-5558)

会館時間 9:30～18:00（土日、祝日を除く）

本文書館が所蔵する資料の中から「防空」「復興」「学校」「教科書」をキーワードに、戦中・戦後の社会情勢や人々の生活に関する資料を約100点展示します。

まちの復興や学校教育の変遷を次世代へ語り伝えていく機会にしていだければと思います。

1 防空

「第一回北九州防空演習ポスター」です。昭和6年7月16日～18日までの3日間実施されました。関門北九州は、重工業地帯を抱えた重要な戦略的防空拠点であったため、昭和6年から大規模な演習が実施されていました。

その後、日中戦争・太平洋戦争下において防空演習が市民の中に日常化されたことがさまざまな記録に残されています。

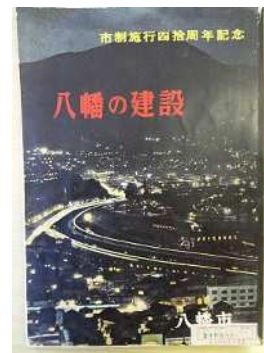
当時の人々のくらしを戦中資料や当時の新聞から紹介します。



2 復興

戦後の復興については、建設省編の「戦災復興誌」や八幡市市制四拾周年記念誌「八幡の建設」を手がかりに、八幡市・門司市の復興を中心に紹介します。

特に「鉄都八幡のシンボル復興平和記念像」の写真は、焼野に萌え出る土筆のように八幡市は戦争の惨禍から新しい工業都市として力強く立ち上がった様子を象徴しています。



3 学校

昭和16年に「国民学校令」が公布され、明治以来国民に親しまれてきた小学校の名称が「国民学校」に改められました。さらに、軍事教育・増産教育などの戦時体制にそった教育が強調され「強固な意思と肉体の鍛錬」に力点が置かれました。戦時体制下の学校教育の変遷を、様々な学校百年誌などから写真や思い出作文とともに紹介しています。

また、戦後の食糧危機、子どもの体位低下、栄養不良という深刻な事情のもとで行われた学校給食について、昭和22年から配給されたララ（アジア救済連盟）物資や軍放出物資によって始められた様子を紹介しています。

4 教科書

本館には市民の方より寄贈された教科書を多数所蔵しています。今回はその貴重な教科書の中から、明治・大正・昭和（戦前・戦後）の約20冊を紹介します。本館所蔵の一番古い教科書である明治7年発行の「小学讀本」に加え「小學修身」、「尋常小學校讀本」、「ヨイコドモ」なども全て現物を展示しています。

